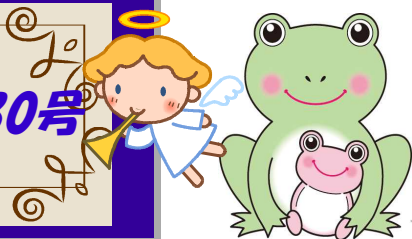


ケロちゃん通信 第30号

2017年 12月



ながおか医療生協
あたごこどもクリニック

〒940-0038 長岡市琴平1丁目2-1

電話番号 0258-36-5810

<http://www.nagaoka-iryuu-seikyuu.jp/>

診療案内



受付開始：一般診療は午前8時30分、午後15時30分です。

☆一般診療

直接来院の場合は、診療時間内に受診してください。
予約希望の場合は、前日0:00からスマホ、携帯、PCより予約システムでご予約ください。
付き添いのお母さん等が体調不良の時も、お気軽にご相談ください。緊急の場合や、特別な相談がある場合には、まずお電話ください。

☆**予防接種、乳児健診**：スマホ、携帯、PCより予約システムでご予約ください（2ヶ月後の予約までできます）。今まで通り、窓口または電話でご予約もできます。

☆専門外来

①**発達外来(第2・4火 13:30~15:30、予約制)** 小児神経専門医による診療を行っています。言葉が遅い、コミュニケーションがとりづらい、落ち着きがない、かんしゃくを起こしやすい等の発達障害をご心配されている方、ひきつけ、チック、夜尿症などの発達や神経に関する心配がある方は、お気軽にご相談ください。

②**アレルギー外来(第1・3金 9:00~12:00 予約も可)**
アレルギー専門医による診療を行っています。食物アレルギー、ぜんそく、アトピー性皮膚炎、花粉症等で心配がある方は、ご相談ください。

☆発達外来、アレルギー外来受診希望の場合には、電話で予約をお願いいたします。(Web予約はできません)

☆生協こどもクリニックとも協力して診察を行っています。病児保育室「すこやか」を利用希望の方は、当院を窓口にして利用することもできます。

☆寒くなりました。もうすぐ雪の季節ですね。

☆インフルエンザも散発的にみられるようになってきましたが、まだ流行というところまではいっていないようです。

☆本年度は、インフルエンザワクチンの供給不足から皆様にご迷惑をおかけしております。11月に予約を再開しましたがすぐに予約数に達してしまい、本年度の新規予約は終了とさせていただきました。

☆予約システムを導入して半年になりました。おおむねうまく稼働しており、待ち時間短縮に役立っていると思います。今後の課題は、予約がいっぱいの時の直接来院の患者さんの待ち時間をいかに短くできるかだと思います。一番の解決策はみなさんにご予約をしていただくことです。更なる予約システムのご利用にご協力をお願いします。

☆職員入り口近くに軽専用駐車場3台分を作りましたので、どうぞご利用下さい。

☆待合室での感染症予防のため、感染症でない患者さんの待合スペースを増やしました。予防接種・専門外来待合室と赤ちゃん待合室を別にし、2室をご利用いただけるようにしました。限られたスペースですが、可能な限りの感染症予防を行っていきたいと思います。

12月の診療予定

・本間医師 (1日午前・午後 15日午前)

・インフルエンザワクチン専用外来

9日(土) 14:00-16:15

29日(金) 14:00-15:15

・年末年始のお休み 12月30日(土)~1月3日(水)

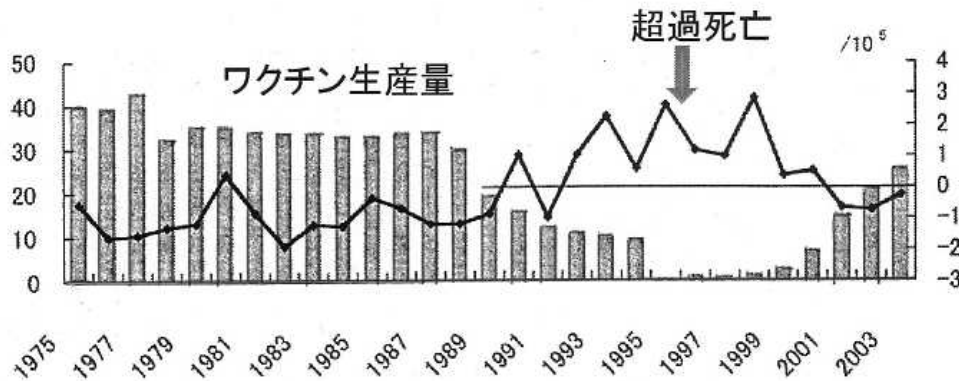


インフルエンザワクチンは効くの？

☆若いお父さん、お母さんも増えて、インフルエンザワクチンで以前のようなことが起きていたかご存知ない方も多いと思います。個人的に経験したことをふまえ、復習したいと思います。

☆1994年まで、インフルエンザ予防接種は、学童の集団接種という形で行われていました。副作用例の報告、発症予防には無効であるという報告などを受けて、1994年に予防接種法が改正され任意接種になりました。その後接種は激減し、社会はインフルエンザに対して無防備となり、1990年代後半、こどものインフルエンザ脳症が多発しました。年間500名前後のこどもが命を失い、それ以上のこどもが重い後遺症を残し社会問題化しました。このことから、1999年からインフルエンザワクチンを再び推奨するようになり、接種者も増加しました。2000年以降は、死に至るような重症なこどもは明らかに減りました。私もこのような変化を現場で経験してきました。

☆有名な超過死亡の報告があります。下のグラフを見ていただくとわかるとは思いますが、上記の理由でインフルエンザ予防接種をしていなかった時期は、インフルエンザ脳症が多発し超過死亡が増加しました。



Sugaya N, et al. Clin Infect Dis 2005;41:939-47

☆2000年前後に起きた出来事は、2001年以降、強い解熱剤（ボルタレンやポンタール）などをこどもに使用しなくなったこと、タミフルなどの抗インフルエンザ薬が使われるようになったことも関係しているかもしれませんが、インフルエンザ予防接種も関係していることは明らかです。

☆よく、「インフルエンザワクチンの予防接種したけどインフルエンザにかかった、効果がなかったのでは？」「今はいい薬があるから、予防接種をせずにかかったら早めに治療すればいいや」という声もよく聞きます。

☆現在のインフルエンザワクチンは、インフルエンザにかからなくするワクチンではありません。インフルエンザワクチンは、体の中に入ってきたウィルスに対する抗体（IgG抗体）を作るためのワクチンです。インフルエンザワクチンを打ってもウィルスは体の中に侵入してきます。しかし、それが増殖し重症化するのを防ぐ作用はあります。インフルエンザワクチンは、かかっても重症化をおさえるためのワクチンです。鼻腔スプレー型インフルエンザ生ワクチンや経皮ワクチンも開発され、その効果が期待されます。

☆予防接種しなくてもかかったら抗インフルエンザ薬を飲めばいいという考えもあります。抗インフルエンザ薬は、ウィルスの増殖を抑制し、早く治るようにする薬ではありますが、重症化や合併症を防ぐ効果は明らかになっていません。「インフルエンザ=抗インフルエンザ薬」というのは世界標準の治療ではありません。

☆いろいろな意見があるのは事実ですが、現状では、インフルエンザワクチンが、インフルエンザの重症化を防ぐ一番有効な方法と思われます。

あ た ご こ ど も ク リ ニ ッ ク

